

<p>今週のみことば あなたがたの上に聖霊が降ると、あなたがたは力を受ける。そして、エルサレムばかりでなく、ユダヤとサマリアの全土で、また、地の果てに至るまで、わたしの証人となる。使徒1:8</p>	<p>第二礼拝 10:45~</p> <p>司会 武田 憲明兄 奏楽 小菅 葉子姉 受付 伊東 浩一兄 熊谷 要治兄</p>	<p>午後 礼拝後 苦小牧礼拝 夕礼拝(午後8時) 詠 今枝 和代姉</p>
<p>第一礼拝 9:15~</p>	<p>前 奏 奏詞 ヨエル3:1 招 詞 栄 24 頌 美 歌 326(1, 2) 主の祈り 93-5B(P148) 開会祈祷 司会者 讃美歌 343(1, 4) 聖書朗読 使徒1:3-8(P213) 2:1-13(P214) メッセージ 小菅 剛師 「今だからこそ、聖霊の力を」 応答祈祷 野村 有兄 讃美歌 536(1, 2) 献金 濱井 勝兄 感謝祈祷 頌 栄 27 祝 禱 告 報 告</p>	<p>今週の集会</p> <p>◇6月2日(火)~6日(土) 早天祈祷会 午前6時</p> <p>◇6月3日(水) 聖研祈祷会 午前11時 詠 高橋 礼子姉 《週報発送日》 午後7時 詠 成澤 光子姉</p> <p>◇6月6日(土) 北野分校 午前10時半 スタサポ 午後1時 合唱団 KIYOTA 午後2時</p>
<p>司会 土屋 美幸姉 奏楽 小菅香世子師 受付 對馬 充子姉</p> <p>前 奏 奏詞 ヨエル3:1 招 詞 栄 64 新 聖 歌 132(1, 4) 主の祈り 93-5B(P148) 開会祈祷 司会者 新 聖 歌 135(1, 4) 聖書朗読 使徒1:3-8(P213) 2:1-13(P214) メッセージ 小菅 剛師 「今だからこそ、聖霊の力を」 新 聖 歌 148(1, 2) 献 金 對馬 充子姉 感謝祈祷 頌 栄 27(P827) 祝 禱</p>	<p>本日の送迎奉仕 渡辺兄 桜庭兄 本日の会堂掃除当番 エステル会</p>	<p>来週の主日礼拝</p> <p>第一礼拝 午前9時15分 教会学校 午前10時45分 第二礼拝 午前10時45分 「くすぶる灯心を消さない」 聖書 マタイ12:15-21 讃美歌 57, 532, 441 礼拝後 定例役員会 午後8時 夕礼拝 詠 熊谷香代子姉</p>
<p>第一部来週新聖歌 19, 251, 232</p>		

<p>本日礼拝説教要旨 2020. 5. 31 今だからこそ、聖霊の力を 使徒1章3~8、2章1~13節 小菅 剛師</p> <p>五旬節の日があってキリスト教は2000年この世に生き続け、世界にキリスト教は伝えられました。キリスト教と教会の発祥の日です。五旬節(50日)に神は何を弟子たちに行われたのでしょうか。</p> <p>1、神が聖霊を降された日です:1~4 イエスは、弟子たちに聖霊によるバプテスマを約束されました(1:4, 5)。その約束は、イースターから50日目に歴史の中に成就しました。神が120人の祈りの中に聖霊を下されました。風、炎とは神が著しく臨まれた表現です。「一人一人の上にとどまった」とあります。留まるとは「座に着く」言葉で、イエスが天上で父の右の座にお着きなられ、地上では弟子たち一人一人の心の王座に着かれ、支配されたことを意味します。</p>	<p>「炎のようなものがとどまる」、「聖霊が臨む」とあり、これは一人一人が個人的に経験したことでした。あなたもこの体験に招かれています。私のペンテコステとしましょう。</p> <p>2、聖霊は、上からの力です1:8 敵は、主の埋葬で墓に番兵を置き、復活をイエスの死体を弟子たちが盗んだと情報を流しました(マタイ27:62~、28:11~)。弟子たちは、ユダヤ人を恐れて部屋に閉じこもっています(ヨハネ20:19)。イエスは、かつて12人を遣わすに「狼の群れに羊を送り込むようなものだ」(マタイ10:16)と言われました。今弟子たちを地の果てまで遣わされますが、苦難と迫害の中に送り出されます。使徒言行録はこの続きです。しかし、羊は神の力を受けて働きました。聖霊は、苦難に向かわせる神の力です。</p> <p>3、キリストの復活を証しする力です1:8、23、2:24 死人の復活は理性の人間を躓かせます。復活は嘲笑われます。しかし、大胆に、復活を語る力です。人受けする話や、自慢話ではなく復活を真正面から語る力です。c o v i d 19感染の中でこそ大胆にキリストを語ろう。</p>
--	--